

第6学年 社会科学習指導案

1 単元名 「江戸幕府による政治の安定」

2 指導観

- 本学級の子どもは、前単元までにその時代の人物の働きや代表的な文化遺産などを基に、その当時の世の中の様子を捉えたり、わが国の歴史の展開を考えることに関心を高めたりしてきた。また、前小単元「全国統一への動き」では、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の3人が、戦国の世の統一に果たした役割や全国統一のための政策の意味を考えた。そのような子どもに、「次の江戸時代は、どのような世の中になると思うか。」と問いかけた。すると、「争いのない世の中になると思う。」「強い指導者が現れると思う。」「争いがなくなるような政策が行われるのだと思う。」など、過去の歴史から学んだことを基に、より安定した世の中を目指す先人たちの働きに対して関心を高めている。思考力、判断力、表現力等については、「問い」から予想し、調べたことから根拠をもって説明する力が育ってきている。しかしながら、さまざまな事象を関連付けたり総合したりして歴史の展開を多角的に考える力は十分ではない。
- 本単元は、学習指導要領内容(2)のア(キ)、イ(ア)を受けて設定した。これまでに子どもは、天皇中心の国づくりの後、武士による政治が始まったこと、信長・秀吉が全国統一を進めてきたことを学んできた。本単元では、それらの学びを基に、武士による政治が安定したことを学んでいく。ここの学びがこの後、明治維新を機に近代化を進めたわが国の歴史の展開を考えることにつながる。
- 指導に当たっては、次の手立てをとる。

(1) 個の考えをつくる学習活動に資する手立ての工夫

① 見方・考え方を働かせる「問い」の構想と「問い」を子どもがもつための活動の工夫

子どもがもつであろう「問い」について以下のように構想し、問いをもつための活動を設定する。

考察や構想に向かう問い		働かせたい見方	問いをもつための活動の工夫
なぜ、江戸幕府は264年間続いたのだろう。	【学習問題】 江戸幕府は、どのようにして安定した政治を行ったのだろう。	・安土・桃山時代と比較するテープ図 ・江戸城にみられる幕府の徳川の力の大きさ	○ テープの長さから江戸幕府が264年間続いた理由について関心をもつ活動
江戸幕府はどのようにして始まったのだろう。		・関ヶ原の戦いの絵から味方の大名と対立する大名の数	
江戸時代の取組について調べよう。		・「大名に対して」「武士以外に対して」「外国との関係」の3つの視点	
江戸幕府は、大名に対してどのような政策をしたのだろう。 江戸幕府は、どうして参勤交代を行ったのだろう。		・大名配置図による幕府と各藩の大名の関係 ・参勤交代での大名の負担、弱体化 ・幕府と大名の主従関係	○ 大名配置について調べる活動 ○ 参勤交代について調べる活動 ○ 参勤交代を通して家光がねらった世の中について考える活動
江戸幕府は、武士以外の人をどのようにして治めたのだろう。		・身分ごとの人口の割合 ・百姓や町人の暮らしの様子 ・百姓に対する法令	○ 江戸時代の「身分制」について調べる活動
江戸幕府は、外国とどのように関わったのだろう。		・鎖国のもとでの他国との交流 ・鎖国下での政策	○ 江戸幕府の「鎖国」のもとでの外国との交渉について調べる活動
江戸幕府の政治の仕組みや政策は、世の中にどのような影響を与えたのだろう。		・これまで調べた資料から、幕府の政策の意図や意味	○ 江戸時代の政策が世の中に与えた影響についてまとめる活動

② 調べ、考えたことを表現する活動の工夫

「さぐる・まとめる」段階までに江戸幕府が長く続いたことに関心を高め、その理由を予想するように仕組む。その中で、「大名に対して」の政策を調べる活動を位置付ける。考えを表現する際には、個人で調べた事象について少人数での班で根拠を基に話し合う活動を設定する。話し合う活動を通して、個人の考えを再構成できるようにする。

(2) 個の考えを広げ深める活動に資する手立ての工夫

① 調べ、考えたことを共有する活動の工夫

個で考えをつくり出すときに使った資料を根拠として示したり、キーワードカードを提示したりして考えを説明する活動を設定する。その際、これまでに使用した資料を教室に掲示したり、ICTを活用した資料提示をしたりして、子どもが視覚的に根拠となる事実を共有できるようにする。

② 見方・考え方の働きをより活発にするために考えを再構成する活動の工夫

「大名配置」や「参勤交代」について調べたことを基に、江戸幕府の意図や政策の意味を考える活動を仕組む。その際、家光がどのような世の中をつくらうとしていたのかについて話し合う活動を位置付けることで、江戸幕府が強い力で大名を支配し、安定した政治を行おうとしていたことを捉え、考えが再構成されるようにする。

3 単元の目標

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度などについて地図、文化財、年表、人物のエピソード、絵巻や想像図などの資料で調べ、まとめることができる。 ○ 江戸時代に武士による政治が安定したことを理解することができる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸幕府の始まり、参勤交代や身分制度、鎖国などの幕府の政策に着目して、問いを見だし、問いに対する予想を立てることができる。 ○ 江戸幕府によるさまざまな政策を関連付けたり総合したりして、江戸幕府初期の政策の意図や意味について考え、表現することができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 武士による政治を安定させていった江戸幕府初期の政策や当時の世の中の様子に関心をもち、予想や学習の見通しをもって粘り強く調べたり考えたりして問題を解決しようとする。 ○ 江戸幕府初期の政策や当時の世の中の様子をもとに、これからのよりよい社会の在り方について考えようとする。

4 展開計画(総時間数8時間)

	主な学習活動	教師のねらいとその手立て	【観点】評価規準
出会う	<p>1 年表を見て気づいたことや疑問を出し合って学習問題を設定し、学習の見通しをもつ。 ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸幕府が長く続いたことが分かるように安土桃山時代と比べることができるテープ図を提示し、視覚的に捉えることができるようにする。 ○ 「江戸幕府はどのようにして始まったのか。」という問いを設定することで、徳川家康が関ヶ原の戦いで多くの大名を味方につけて対立する大名を破り、全国の大名を従えたことを考えることができるようにする。 ○ どのようにして徳川家が政治を確立していったのかについて、予想から、「大名に対しての政策」「武士以外の身分に対する政策」「外国との関わり方に関する政策」の3つの視点に分けて学習の見通しをもつことができるようにする。 ○ 江戸時代が幕府の政治によって安定したものになったことが予想できるように、資料を提示する。 ○ 幕府の政策や世の中の様子に着目して学習の見通しをもつことができるように、信長・秀吉の政策について振り返る場を設定する。 	<p>【主】武士による政治を安定させていった江戸幕府初期の政策や当時の世の中の様子に関心をもち、追究しようとしている。</p> <p>【思】江戸幕府の始まり、参勤交代や身分制度、鎖国などの幕府の政策に着目して、問いを見だし、問いに対する予想を立てている。</p>
	学習問題	江戸幕府は、どのようにして安定した政治を行ったのだろう。	

さぐる・まとめる	<p>2 江戸幕府の「大名配置」「武家諸法度」「参勤交代」について調べ、話し合う。③ <本時3 / 3></p>	<p>○ 幕府と大名との主従関係を明らかにして、幕府による政治を確立させたことを捉えることができるように、「大名配置」「参勤交代」「武家諸法度」について調べる活動を設定する。</p> <p>○ 「大名配置」について調べたことを基に、幕府の意図について考える活動を設定する。1614年と1664年の大名配置図を比較し、幕府がどのような意図で配置換えを行っているか考えることで、幕府が強い力で大名を支配する仕組みが整ったことを捉えることができるようにする。</p> <p>○ 「参勤交代」について調べたことを基に、幕府の意図について考える活動を設定する。その際、「なぜ、そこまでして参勤交代をしたのだろう。」という問いを設定し、幕府の意図と大名側の影響について武家諸法度と関連付けて考える活動を位置付ける。また、家光の人物年表やエピソードなどを提示し、人物像に迫ることができるようにする。</p>	<p>【知】大名配置の政策やその意図について地図、年表、人物のエピソード、絵巻や想像図などの資料で調べ、まとめている。</p> <p>【知】武家諸法度について地図、年表、人物のエピソード、絵巻や想像図などの資料で調べ、まとめている。</p> <p>【思】家光が他の大名との主従関係を確立させ、強い力で全国の大名を支配しようとしていたことを考え、表現している。</p>
	<p>3 江戸時代の身分制について調べる。①</p> <p>4 江戸幕府の鎖国のもとでの外国との交流について調べる。①</p>	<p>○ 武士中心の世の中をつくり、財源・労働力・政治体制への受容の視点から幕府による政治を確実なものにしたことを捉えることができるように、それぞれの身分の割合とその役割について調べる活動を設定する。</p> <p>※ 指導の際は、「新版いのち」を活用して、人権尊重の視点にも配慮する。</p> <p>○ キリスト教布教に伴う争いを抑えた点、国外の情報を抑え交易によって利益を得た点、国防の観点から、江戸幕府が幕府による政治を確実なものにしたことを捉えることができるように、鎖国のもとでも交流をもった国について調べ、交流をもった理由について考える場を設定する。</p>	<p>【知】身分制度などについて資料で調べ、まとめている。</p> <p>【知】幕府の鎖国政策について地図、文化財、年表、人物のエピソード、絵巻や想像図などの資料で調べ、まとめている。</p>
生かす	<p>5 学習問題に対する答えを整理し、意見交流を通して吟味、検討する。②</p>	<p>○ 幕府が行った政策や世の中の様子を関連付けたり総合したりして、江戸幕府初期の政策の意図や社会の様子について考えることができるように、政権の安定に効果が高かった政策の順位やその理由について話し合う活動を設定する。また、「効果が低いと考えた政策がなかったらどうか。」と問い、江戸幕府が諸政策を行った意図について考える場を設ける。</p>	<p>【知】江戸時代に武士による政治が安定したことを理解している。</p> <p>【思】江戸幕府によるさまざまな政策を関連付けたり総合したりして、江戸幕府初期の政策の意図や意味について考え、表現している。</p> <p>【主】江戸幕府初期の政策や当時の世の中の様子をもとに、これからのよりよい社会の在り方について考えようとしている。</p>

5 本時

(1) 日時 令和4年10月14日(金) 5校時 於 6年2組教室

(2) 主眼

家光が参勤交代の制度をつくった意図やどのような世の中を目指したのかを話し合う活動を通して、家光が他の大名との主従関係を確立させ、強い力で全国の名を支配しようとしていたことを考え、表現することができるようにする。

(3) 見方・考え方を働かせている子どもの姿

大名と幕府の主従関係に着目し、参勤交代の政策の意図について話し合い、家光が他の大名との主従関係を確立させ、強い力で全国の名を支配しようとしていたことを考え、表現している姿

(4) 準備

参勤交代に関する資料(「加賀藩の大名行列(想像図)」「加賀藩の支出のうちわけ」「参勤交代にかかった日数」「船で移動する様子」「木曾三川の治水工事をする薩摩藩」等)「徳川家康・秀忠・家光の肖像画」

(5) 展開

学習活動と子どもの思考	○指導上の留意点,【観点】評価規準(評価方法)
<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>参勤交代は、大名にとって大変な制度だったよ。大名が反抗するかもしれないのになぜ、参勤交代の制度を家光はつくったのかな。</p> 	<p>○ めあてをつかむことができるように、参勤交代を強いられた大名の気持ちを考える活動を通して、「なぜ、大名の反発を生む可能性があるのに参勤交代の制度をつくったのか。」という問いをもつことができるようにする。</p>
<p>(めあて) 家光は、どのようなねらいで参勤交代の制度をつくったのだろう。</p>	
<p>2 参勤交代の政策の意図について話し合う。</p> <p>参勤交代で大名にお金の面で負担をかけたり、労働力を得たりして、幕府の権力を強め、ほかの大名たちが反抗する気をなくさせたと思うよ。</p> 	<p>○ 江戸幕府の行った参勤交代の仕組みについて調べたことを根拠として、参勤交代の政策の意図を考えることができるように、参勤交代に関する資料を黒板に掲示し、どの資料から考えたかを問いかける。</p>
<p>3 家光はどんな世の中をつくりたかったのかについて考え、話し合う。</p> <p>(1) 小グループでの話し合い (2) 学級全体での話し合い</p>	<p>○ 家光が家康・秀忠の政策を引き継ぎつつ、これまでよりも他の大名との主従関係を確立させ、強い力で全国の名を支配しようとしていたことを考えることができるように、「生まれながらの将軍 家光」という言葉をホワイトボード上に配置し、その言葉を言った意味を考えるように促したり、「なぜ、『不満なら戦いをしかけてもよい』とまで言えたのか」と問いかけたりする。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="188 1626 459 1906" style="width: 30%;"> <p>武家諸法度や大名配置からも考えたけど、やっぱり参勤交代の制度の意図を考えても徳川の力が強い世の中にしたかったと思うよ。家康と同じ考えだね。</p> </div> <div data-bbox="555 1626 655 1783" style="width: 20%; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="715 1615 1417 1682" style="width: 40%;"> <p>「生まれながらの将軍」を見て。「なぜ、『不満なら戦いをしかけてもよい』とまで言えたのだろう。」</p> </div> <div data-bbox="491 1794 906 1939" style="width: 30%;"> <p>でも、家康には、関ヶ原の戦いの恩が他の大名にあったよ。家光は、家康や秀忠とは違って他の大名を家来として扱う世の中にしたところ、違うね。</p> </div> <div data-bbox="938 1749 1401 1939" style="width: 30%;"> <p>確かに大名の反感はかうけど、これまでに家康や秀忠が大名配置や武家諸法度で大名の経済力や軍事力を奪っているから、自信をもって参勤交代の制度で上下関係を確かなものにしようとしたんだと思うよ。</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">【思】 家光が他の大名との主従関係を確立させ、強い力で全国の名を支配しようとしていたことを考え、表現している。 (ノート記録・発言記録)</p>	

4 話し合ったことをもとに、本時の学習をまとめる。	○ 話し合ったことをもとに、本時の学習をまとめることができるとように板書上のキーワードを使ってまとめるように促す。
(まとめ) 家光は、参勤交代の制度をつくり、大名たちの財力を弱め、反逆する気をなくさせ、大名との主従関係を明確にし、強い力で大名を支配しようとした。	
5 本時の学習を振り返る。	○ 自己の学びを振り返り、考えを広げ深めていた子どもを意図的に指名し、称賛と価値付けを行う。

(6) A評価とB評価の様相

区分	様相
A評価 (十分満足できる状況)	江戸幕府のこれまでの政策や家光の人物像を関連付けたり総合したりして、家光が他の大名との主従関係を確立させ、強い力で全国の大名を支配しようとしていたことを考え、表現している。
B評価 (おおむね満足できる状況)	家光が他の大名との主従関係を確立させ、強い力で全国の大名を支配しようとしていたことを考え、表現している。